

# 令和8年度 自主防災組織運営のための手引き



安城市 市民生活部 危機管理課

作成: 令和8年4月1日

# 目 次

ページ

<b>自主防災活動のご案内</b>	1
<b>自主防災組織の活動についての手続</b>	
(1) 補助金の申請や自主防災活動の手続について	3
(2) 補助金事務の流れ	12
<b>資料</b>	
<b>1 会長の交代等、組織内容を変更する場合 ⇒ <u>自主防災会設立(変更)届</u></b>	
(1) 自主防災会設立(変更)届の記載例	13
(2) 自主防災会設立(変更)届	14
<b>2 防災訓練・研修等、年間の地域防災活動の経費について ⇒ <u>自主防災組織運営費補助金</u></b>	
(1) 安城市自主防災組織運営費補助金交付要綱	15
(2) 運営費補助の対象<別表>	17
(3) 補助金等交付申請書の記載例	18
(4) 補助金等交付申請書	19
(5) 自主防災組織活動事業計画案の記載例	20
(6) 自主防災組織活動事業計画案	21
(7) 補助事業等実績報告書の記載例	22
(8) 補助事業等実績報告書	23
(9) 自主防災組織活動事業実施報告書の記載例	24
(10) 自主防災組織活動事業実施報告書	25
(11) 補助金等交付請求書の記載例	26
(12) 補助金等交付請求書	27
(13) 委任状の記載例	28
(14) 委任状	29
<b>3 災害に備えて地域で資機材を新たに整備する場合 ⇒ <u>自主防災組織資機材整備事業補助金</u></b>	
(1) 安城市自主防災組織資機材整備事業補助金交付要綱	30
(2) 補助の対象<別表>	33
(3) (参考) 補助金申請の考え方	34
(4) 補助金等交付申請書の記載例	35
(5) 補助金等交付申請書	36
(6) 補助事業等実績報告書の記載例	37
(7) 補助事業等実績報告書	38
(8) 補助金等交付請求書の記載例	39
(9) 補助金等交付請求書	40
(10) 委任状の記載例	41
(11) 委任状	42
(12) 自主防災組織の資機材の装備基準	43
<b>4 地域で防災マップを作成する場合 ⇒ <u>地域防災マップ作成事業補助金</u></b>	
(1) 安城市地域防災マップ作成要領	44
(2) 安城市地域防災マップ作成事業補助金交付要綱	47
(3) 補助金等交付申請書の記載例	49

(4) 補助金等交付申請書	50
(5) 補助事業等実績報告書の記載例	51
(6) 補助事業等実績報告書	52
(7) 補助金等交付請求書の記載例	53
(8) 補助金等交付請求書	54
(9) 委任状の記載例	55
(10) 委任状	56

**5 地域で防災訓練を開催する場合 ⇒ 自主防災訓練等実施(計画・報告)書**

(1) 自主防災訓練等(計画・報告)書の記載例	57
(2) 自主防災訓練等(計画・報告)書	58

**6 関連資料**

(1) 貸出用防災DVD一覧表	60
(2) 自主防災訓練の資機材貸出について	63
(3) 地震体験車(なまず号)利用申込受付方法について	64
(4) 安城市自主防災組織育成助成事業補助金(宝くじ助成事業)制度概要	66
(5) 安城市災害支援制度一覧表	68

## 補助金の申請や自主防災活動の手続について

日ごろは、地域の自主防災活動にご尽力いただき誠にありがとうございます。

安城市では、地域における自主防災活動を支援するため、補助金交付制度を設けています。自主防災活動を充実させるためにも、ぜひ活用してください。

なお、活用の際には、下記の各手続についての説明と、12頁の別紙「補助金事務の流れ」を参照のうえ、申請等をお願いします。

また、自主防災活動を行うための関係書類や提供資料も下記のとおりです。併せてご確認くださいようお願いします。

### **1 組織内容や代表者に変更があった場合、新たに組織を設立する場合**

自主防災組織の設立・変更などの事実が発生した場合、14頁の**自主防災組織設立（変更）届**を提出してください。提出がない場合、補助金の交付が受けられないことがあります。

#### **(1) 組織内容にどのような変更があった場合に、届出が必要になるかについて**

- ・ 「自主防災組織設立（変更）届」にある「自主防災組織（変更）内容」の各欄に掲げられている事項について変更があった場合、届出をお願いします。ただし、代表者名の変更については、自主防災組織緊急連絡先調査の時点で提出いただいている場合、再提出の必要はありません。
- ・ それ以外の事項が変更された場合や、昨年度から変更がない場合は届出の必要はありません。
- ・ 規約の改正があった場合（役割分担の担当者氏名についての変更にとどまる場合は含まず）は、改正後の規約を別に提出してください。

#### **(2) 届書の書き方**

- ・ 14頁の自主防災組織設立（変更）届の書き方につきましては、13頁に記載例があります。記載例に従って記入してください。

## 2 自主防災組織の運営費について補助金を申請する場合

自主防災組織が行う活動（訓練、会議、学習会など）につきましてもは運営費として補助金が交付されます。申請をされる際は、19頁の「補助金等交付申請書」と21頁の「事業計画案」をご提出ください。

提出いただいた書類は市で確認を行い、1週間ほどで、「補助金等交付決定通知書」、「補助事業等実績報告書」、「活動事業実施報告書」、「補助金等交付請求書」、「委任状」を送付いたします。

資料が届きましたら12頁の「補助金事務の流れ」をご確認いただき、「補助事業等実績報告書」、「活動事業実施報告書」、「補助金等交付請求書」、「活動状況がわかる写真」、「買った物品等の領収書の写し」、「委任状（振込口座名に「自主防災」と明記がない組織は提出）」のご提出をお願いします。

補助事業等実績報告書は22頁、活動事業実施報告書は24頁、補助金等交付請求書は26頁、委任状は28頁に記載例がございます。

### (1) 補助の対象について

- ・ 17頁の「別表（第3条関係）」をご参照ください。

### (2) 補助金の上限額について

- ・ 町内会の世帯数によって決定いたします。5月下旬ごろ、通知を送付しますので、届きましたらご確認ください。15頁の「安城市自主防災組織運営費補助金交付要綱」第4条をご参照ください。

### (3) 補助金等交付申請書の書き方について

※記載例は18頁にあります。

- ・ 補助金等交付申請額をご記入ください。
- ・ 申請日・着手日は4月1日、完了日は3月31日で固定しています。

### (4) 事業計画案の書き方について

※記載例は20頁にあります。

- ・ 年度始めに年間事業計画を策定していただき、補助金額に見合う支出の事業を見込みで計上のうえ記載してご提出ください。申請後に内容に変更があっても問題ありません。

- ・記載する事業は、年間の総事業費が申請する補助金額を超えるものであれば、一つでも複数でも結構です。

#### **(5) 補助事業等実績報告書の書き方について**

**※記載例は22頁にあります。**

- ・事業が完了しましたら、速やかに実績報告書をご提出ください。提出期限は、3月20日になります。
- ・施行期間については、着手は4月1日で固定してあります。完了日は、領収書の日付か事業実施日のうち、一番遅い日付をご記入ください。

#### **(6) 活動事業実施報告書の書き方について**

**※記載例は24頁にあります。**

- ・「収入 内訳」の「合計」には、領収書の金額（税込）をご記入ください。領収書が複数ある場合は、すべての領収書の金額を合計したものを記入ください。
- ・「収入 内訳」の「その他」には、「合計」の金額から「補助金」の金額を引いた金額をご記入ください。
- ・「支出 内訳」には、行った事業名と金額をご記入ください。
- ・「支出 内訳」の「合計」は、「収入 内訳」の「合計」と金額を一致させていただきますようお願いします。

#### **(7) 補助金等交付請求書の書き方について**

**※記載例は26頁にあります。**

- ・「請求の根拠」の事業完了日については、実績報告書の「完了」と同じ日付をご記入ください。
- ・「口座名義人」が〇〇町内会となっている方は、委任状の提出が必要になります。

※〇〇自主防災組織となっている方は、委任状の提出は不要です。

#### **(8) 委任状の書き方について（口座名義人が〇〇町内会となっている方のみ提出）**

**※記載例は28頁にあります。**

- ・「受任者」については、必ず「〇〇町内会 会長 氏名」という形でご記入をお願いします。

- ・「振込先口座」については、請求書と同じ内容をご記入ください。

### **3 自主防災組織の資機材整備事業について補助金を申請する場合**

自主防災組織が災害に備えて装備するために防災資機材を購入する場合、内容に応じて費用の2分の1または3分の2（限度額あり）を補助金として交付します。購入に先立ち、36頁の**補助金等交付申請書**に加えて、**購入する資機材の見積書の写し**及び**カタログ等の写し**をご提出ください。

ご提出いただいた書類は市で確認を行い、1週間ほどで**補助金等交付決定通知書**、**補助事業等実績報告書**、**補助金等交付請求書**、**委任状（振込口座名に「自主防災」との明記がない組織）**を送付いたします。

資料が届きましたら12頁の「補助金事務の流れ」をご確認いただき、**補助事業等実績報告書**、**補助金等交付請求書**、**買った資機材の領収書の写し**、**委任状（振込口座名に「自主防災」と明記がない組織は提出）**のご提出をお願いします。

補助事業等実績報告書は37頁、補助金等交付請求書は39頁、委任状は41頁に記載例がございます。

#### **（1）補助の対象について**

33頁の「別表（第3条関係）」をご参照ください。

#### **（2）補助金の上限額について**

30頁の補助金交付要綱第4条をご参照ください。

#### **（3）補助金等交付申請書の書き方について**

**※記載例は35頁にあります。**

- ・「補助金等交付申請額」は、「収入合計」の2分の1以内の金額になります。（受水槽、緊急用ろ水装置、井戸設置に係る資機材、及び育児・妊産婦・生理用資機材については、「収入合計」の3分の2以内）  
また、令和3年度から千円未満の端数が切り捨てとなりました。
- ・「施行予定期間」の「着手」の記入については、申請日と同じ日付をご記入ください。「完了」については、差し支えなければ3月31日とし

てください。

- ・「歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法」の「収入合計」は、購入する資機材の御見積書の金額（税込）をご記入ください。また、隣の列の「支出合計」、「内訳 購入費」には同じ金額をご記入ください。
- ・「歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法」の「内訳 補助金」には、上の欄の「補助金等交付申請額」と同じ金額をご記入ください。「その他」については、「収入合計」から「内訳 補助金」を引いたものをご記入ください。

#### **（４）購入する資機材の見積書の写しについて**

- ・ 見積書のあて名は、自主防災組織あてのものでお願いします。町内会あては不可となりますのでご注意ください。

#### **（５）補助事業等実績報告書の書き方について**

※記載例は 37 頁にあります。

- ・「施行期間」の「着手」の日付は、交付決定日で固定してあります。また、「完了」につきましては、領収書の日付をご記入ください。領収書が複数ある場合は領収書の日付が一番遅いものをご記入ください。
- ・「事業実績及び効果」については、購入した資機材の名をご記入ください。
- ・「歳入歳出決算額の内容」の「収入合計」は、領収書のご記入ください。領収書が複数ある場合は、すべての領収書の金額を足したものをご記入ください。また「支出合計」「内訳 購入費」には、「収入合計」と同じ金額をご記入ください。
- ・「歳入歳出決算額の内容」の「その他」については、「収入合計」から「内訳 補助金」を引いたものをご記入ください。

#### **（６）補助金等交付請求書の書き方について**

※記載例は 39 頁にあります。

- ・ 運営費補助金の請求書と書き方は同様です。

(7) 委任状の書き方について(口座名義人が〇〇町内会となっている方のみ提出)

※記載例は41頁にあります。

- ・運営費補助金の委任状と書き方は同様です。

#### 4 地域防災マップの作成事業について補助金を申請する場合

自主防災組織が地域の実情に合った防災マップを作成する場合、印刷費等を支援するために補助金を交付します。地域防災マップの作成に先立ちましては、44頁からの「安城市地域防災マップ作成要領」を十分に確認のうえ、事業計画を策定してください。補助金の申請につきまして50頁の補助金等交付申請書とマップ作成にかかる経費の見積書の写しをご提出ください。

ご提出いただいた書類は市で確認を行い、1週間ほどで補助金等交付決定通知書、補助事業等実績報告書、補助金等交付請求書、委任状(振込口座名に「自主防災」との明記がない組織)を送付いたします。

資料が届きましたら12頁の「補助金事務の流れ」をご確認いただき、補助事業等実績報告書、補助金等交付請求書、領収書の写し、作成したマップ、委任状(振込口座名に「自主防災」と明記がない組織は提出)のご提出をお願いします。

##### (1) 補助金の金額について

- ・補助金額は、一自主防災組織につき50,000円以内です。

ただし、マップに掲載する井戸の水質検査も行う場合は、別途必要経費を全額補助します。

##### (2) 補助金等交付申請書の書き方について

※記載例は49頁にあります。

- ・「補助金等交付申請額」は、上限金額は原則50,000円ですが、水質検査をした井戸水をマップに掲載する場合に限り、検査料を全額補助することができます。

また、令和3年度から千円未満の端数が切り捨てとなりました。

- ・「施行予定期間」の「着手」については、申請日と同じ日付をご記入ください。「完了」については、差し支えなければ3月31日としてください。
- ・「歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法」の「収入合計」は、御見積書の金額（税込）の合計をご記入ください。また、隣の列の「支出合計」には同じ金額をご記入ください。
- ・「内訳 補助金」には、「補助金等交付申請額」と同じ金額をご記入ください。「その他」には、「収入合計」から「内訳 補助金」を引いた金額をご記入ください。
- ・「内訳 印刷費」には、印刷費の見積書の金額をご記入ください。
- ・「内訳 井戸水質検査費」には、井戸の水質検査にかかる金額をご記入ください。「その他」には、「支出合計」から「印刷費」「井戸水質検査費」を引いた金額をご記入ください。

### **(3) 補助事業等実績報告書の書き方について**

**※記載例は51頁にあります。**

- ・「施行期間」の「着手」の日付は、交付決定日で固定してあります。「完了」につきましては、領収書の日付をご記入ください。領収書が複数ある場合は領収書の日付が一番遅いものをご記入ください。
- ・「歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法」の「収入合計」は、領収書の金額（税込）の合計をご記入ください。また、隣の列の「支出合計」には同じ金額をご記入ください。「その他」には、「収入合計」から「補助金」引いた金額をご記入ください。
- ・「内訳 印刷費」には、印刷費に要した領収書の金額をご記入ください。
- ・「内訳 井戸水質検査費」には、井戸水質検査費の領収書の金額をご記入ください。
- ・「その他」には、「支出合計」から「内訳 印刷費」「井戸水質検査費」を引いた金額をご記入ください。

### **(4) 補助金等交付請求書の書き方について**

**※記載例は53頁にあります。**

- ・ 運営費補助金の請求書と書き方は同様です。

#### (5) 委任状の書き方について（口座名義人が〇〇町内会となっている方のみ提出）

※記載例は55頁にあります。

- ・ 運営費補助金の委任状と書き方は同様です。

## 5 すべての補助金申請に共通する注意事項

- ・ 補助金は前払いではありません。実績に基づき支払いますが、申請は事前に行ってください。
- ・ 補助金の振込は、原則として自主防災組織名義の（口座名義に「自主防災」との明記がされている）口座へ振り込みます。「自主防災」名義の振込口座をお持ちでない場合は、補助金請求の際に委任状の作成を依頼させていただきます。
- ・

## 6 自主防災訓練を実施する場合

### (1) 自主防災訓練を計画から実施するまでの流れ

- ・ 自主防災訓練を実施する場合、例年、開催時期が重複することから、日時・訓練内容などについて事前に調整する必要があります。訓練の期日・内容等の相談・報告等につきましては、早めに危機管理課までお願いします。
- ・ 訓練予定日及び訓練内容が決まりましたら、58頁の**自主防災訓練等計画書**を速やかに提出してください。
- ・ 訓練が終了しましたら、同じく58頁の**自主防災訓練等報告書**に参加人数等を記載して速やかに提出してください。（計画書と報告書の書式は兼用です。）

### (2) 計画書・報告書の書き方

58頁の自主防災訓練等（計画・報告）書の書き方につきましては、57頁に記載例があります。

## 7 その他、自主防災組織運営に関する資料

### (1) 自主防災組織の資機材の装備基準（43頁）

300世帯規模の自主防災組織を想定して、揃えるべき防災資機材・装備の数の目安が記載してあります。

**(2) 貸出用防災DVD一覧表 (60頁から)**

危機管理課では、災害や防災について学習できるさまざまな内容のDVDを貸し出しております。防災学習会等で活用してください。

**(3) 自主防災訓練の資機材貸出について (63頁)**

貸出資機材・申込み方法を記載しています。

**(4) 安城市災害支援等制度一覧表 (68頁から)**

被災したときに、安城市から受けられる支援制度等をご紹介します。

補助金事務の流れ(危機管理課関係)

<p>交付申請 (自主防)</p> <p>年間計画を早期に策定していただき、早めに交付申請書を提出してください。なお、申請は、事業実施前にお願ひします。</p>	<p>交付決定 (市)</p>	<p>実績報告 (自主防)</p> <p>事業が完了したら、速やかに実績報告書を提出してください。                  ※資機材補助金は購入後30日以内に提出                  ※実績報告書提出の最終期限は3月20日です。</p>	<p>補助金交付 (市)</p>
<p>運営費</p> <p>①「補助金等交付申請書」 P19                  ②「活動事業計画案」 P21                  を提出してください。</p>	<p>申請後、1週間ほどで「交付決定通知書」等を送付します。</p>	<p>①「補助事業等実績報告書」 P23                  ②「活動事業実施報告書」 P25                  ③「補助金等交付請求書」 P27                  ④活動の状況がわかる写真等                  ⑤領収書の写し                  ⑥委任状 (振込口座名に「自主防災」との明記がない場合) P29</p>	<p>報告後、1か月ほどで補助金を振り込みます。</p>
<p>資機材</p> <p>①「補助金等交付申請書」 P36                  ②購入する資機材の見積書                  ③購入する資機材のカタログ等の写し                  を提出してください。見積もり日を記入                  ※見積書には、見積もり日を記入                  してください。</p>	<p>交付決定後に、事業を実施してください。                  なお、補助金額などに変更が生じる場合は、速やかにご連絡ください</p>	<p>①「補助事業等実績報告書」 P38                  ②「補助金等交付請求書」 P40                  ③領収書の写し                  ④委任状 (振込口座名に「自主防災」との明記がない場合) P42</p>	<p>指定口座に振り込まれているか、必ず確認してください。</p>
<p>防災マップ</p> <p>①「補助金等交付申請書」 P50                  ②マップ作成にかかる見積書                  ③試験検査依頼書 (写し)                  ④井戸所有者の同意書                  ⑤検査箇所一覧表                  を提出してください。                  ※③～⑤は、井戸水水質検査を実施する場合のみ必要</p>		<p>①「補助事業等実績報告書」 P52                  ②「補助金等交付請求書」 P54                  ③領収書の写し                  ④作成したマップ                  ⑤委任状 (振込口座名に「自主防災」との明記がない場合) P56                  ⑥試験検査成績書                  ※⑥は、井戸水水質検査を実施した場合のみ必要</p>	

見積書と領収書のあて名は、自主防災組織あてのものでお願いします。(町内会あては不可)  
 領収書には、但し書きを記載してください。



別記様式（第5条関係）

## 自主防災組織設立（変更）届

安 城 市 長

		届出日	令和	年	月	日	
届出者	住 所						
	団 体 名 代表者氏名	印					
設置・変更の区分		設 置	変 更				
自 主 防 災 組 織 （ 変 更 ） の 内 容	名 称						
	設立（変更） 年 月 日	令和	年	月	日		
	事務所の場所						
	代表者	住 所					
		氏 名					
	活 動 区 域	町内会区域					
会 員 数	世帯						

※ 変更届の場合は、自主防災組織の内容欄で変更のあった部分のみ記入してください。

## 安城市自主防災組織運営費補助金交付要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、地震その他の災害に備え、市民による地域の自主防災組織の育成を推進するため、自主防災組織に対して予算の範囲内で交付する安城市自主防災組織運営費補助金（以下「補助金」という。）に関し、安城市補助金等の予算執行に関する規則（昭和39年安城市規則第16号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この要綱において「自主防災組織」とは、地域の自主防災活動を行うため、一つ又は複数の町内会を単位として組織し、市に届け出たものをいう。

2 この要綱において「連合自主防災組織」とは、自主防災組織のうち複数の町内会を単位として組織されたものをいう。

### (補助の対象)

第3条 自主防災組織が主体となって行う活動事業に対し補助金を交付するものとし、その対象については、別表のとおりとする。

### (補助金の額)

第4条 補助金の額は、前条に規定する補助の対象となるものに要した経費とし、次の各号に掲げる自主防災組織を構成する町内会の世帯数の区分に応じ、当該各号に定める額を上限とする。

- (1) 300世帯未満 2万円
- (2) 300世帯以上900世帯未満 3万円
- (3) 900世帯以上1,500世帯未満 4万円
- (4) 1,500世帯以上 5万円

2 前項の規定にかかわらず、連合自主防災組織又は水防組織を所管する自主防災組織に交付する補助金の額は、前項に規定する額の1.5倍の額を上限とする。

3 前2項の規定にかかわらず、補助金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

### (交付申請)

第5条 補助金の交付を受けようとする自主防災組織は、規則第4条に規定する申請書に、次の書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 自主防災組織設立（変更）届（別記様式）（設立時及び変更時のみ）

(2) 自主防災組織規約（設立時及び変更時のみ）

(3) その他必要な書類

（委任）

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

補助の対象となるもの	補助の対象とならないもの
<p>1 消耗品費 訓練等に使用する物品、テキスト代、鉛筆、マジック、付箋紙、タックシール、用紙等</p>	<p>1 負担金 連絡協議会、消防団、老人クラブ、婦人防火クラブ、子ども会、連合町内会等への負担金等</p>
<p>2 通信費 電話、ファックス、切手等</p>	<p>2 飲食費</p>
<p>3 使用料 会場使用料等</p>	<p>3 自主防災組織資機材整備事業補助金の補助対象に該当するもの</p>
<p>4 訓練等の参加賞</p>	<p>4 その他自主防災組織の運営に必要と認められないもの</p>
<p>5 講師謝礼</p>	
<p>6 印刷製本費</p>	
<p>7 交通費</p>	
<p>8 賃借料 訓練に使用する資機材運搬用車両のレンタル料等</p>	
<p>9 光熱費</p>	
<p>10 原材料費</p>	

# 補助金等交付申請書

**運営費  
記載例**

□ は記入していただく箇所です。 令和8年4月1日

安城市長

申請日は運営費補助のみ4月1日に固定

住所(所在地)

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

○○自主防災会  
会長 ○○ ○○

自署 or 自主防会長印 or 会長私印  
不可：町内会長印

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助事業等の名称	自主防災組織運営事業		
補助金等交付申請額	金	○○○○○	円
施行場所	○○町内会		地内
施行予定期間	着手	令和8年4月 1日	
	完了	令和9年3月31日	
計画の概要及び効果	防災訓練の実施等 及、高揚を図る。 <b>★チェック事項★</b> ①活動事業計画案があるか ②補助金等交付申請額はあっているか ③補助金の金額は千円未満切り捨てと なっているか		
歳入歳出予算額の内容 及び経費の使用方法	別紙「事業計画案」のとおり		

## 備考

- この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 計画の概要及び効果並びに歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

# 補助金等交付申請書

令和8年4月1日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助事業等の名称	自主防災組織運営事業
補助金等交付申請額	金 円
施行場所	地内
施行予定期間	着手 令和8年4月1日 完了 令和9年3月31日
計画の概要及び効果	防災訓練の実施等を通じて、住民の防災意識の普及、高揚を図る。
歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法	別紙「事業計画案」のとおり

**備考**

- 1 この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 2 計画の概要及び効果並びに歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

令和 8 年度自主防災組織活動事業計画案

運営費  
記載例

は記入していただく箇所です。

組織名	〇〇自主防災会
代表者名	会長 ○ ○ ○ ○

収入と支出の金額は一致させてください

収入 内訳		支出 内訳	
補助金	40,000 円	総会	4,000
その他	22,000 円	防災学習会	24,000
		防災訓練	34,000
合計	62,000 円	合計	62,000 円

予算額の合計と支出合計額・収入合計額の金額が一致していることを確認してください。

開催予定日	事業名		予算額
4月	自主防災組織総会	参加賞	4,000円
9月	防災学習会	参加賞	4,000円
		会場使用料	20,000円
11月	自主防災訓練	炊き出し訓練用食材	30,000円
		鉛筆・付箋紙	4,000円

計画案ですので、金額等はおおよその見積もりでかまいません。また、申請後に変更があっても補助金額に変更がなければ、問題ありません。



# 補助事業等実績報告書

**運営費  
記載例**

安城市長

事業が完了したら、速やかに実績報告書を提出してください。  
※実績報告書の提出最終期限は3月20日

令和

住所(所在地)

は記入していただく箇所です。

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

自署 or 自主防会長印 or 会長私印  
不可：町内会長印

○○自主防災会

会長 ○○ ○○

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助金等交付 決定年月日	令和○年○月○日 指令8危機第3-○○号
補助事業等の名称	自主防災組織運営事業
施行場所	○○町内会 地内
施行期間	着手 令和8年4月1日 完了 令和 年 月 日
事業実績及び効果	住民の防災意識の普及、高
歳入歳出決算額の内容	別紙「活動事業実施報告書」

着手日は「令和8年4月1日」で固定です。  
完了日は、領収書と活動日のうち、日付が一番遅いものを記入する。

**★チェック事項★**

- ①領収書の写し・活動状況が分かる写真があるか
- ②委任状があるか(振込口座名が「町内会」の場合)
- ③提出日が完了日以降かつ3月20日以前になっているか

備考

- 1 この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 2 事業実績及び効果並びに歳入歳出決算額の内容については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

# 補助事業等実績報告書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助金等交付 決定年月日	令和 年 月 日 指令 危機第 号
補助事業等の名称	自主防災組織運営事業
施行場所	地内
施行期間	着手 令和 年 月 日 完了 令和 年 月 日
事業実績及び効果	住民の防災意識の普及、高揚を図ることができた。
歳入歳出決算額の内容	別紙「活動事業実施報告書」のとおり

## 備考

- 1 この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 2 事業実績及び効果並びに歳入歳出決算額の内容については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

# 令和 8 年度自主防災組織活動事業実施報告書

## 運営費記載

は記入していただく箇所です。

組織名 ○○自主防災会

代表者名 会長 ○ ○ ○ ○

<p>収入 内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">補助金</td> <td style="text-align: right;">40,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">22,000 円</td> </tr> <tr style="border-top: 1px solid black;"> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">62,000 円</td> </tr> </table>	補助金	40,000 円	その他	22,000 円	合計	62,000 円	<p>支出 内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 150px;">総会</td> <td style="text-align: right;">4,000</td> </tr> <tr> <td>防災学習会</td> <td style="text-align: right;">24,000</td> </tr> <tr> <td>防災訓練</td> <td style="text-align: right;">34,000</td> </tr> <tr style="border-top: 1px solid black;"> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">62,000 円</td> </tr> </table>	総会	4,000	防災学習会	24,000	防災訓練	34,000	合計	62,000 円
補助金	40,000 円														
その他	22,000 円														
合計	62,000 円														
総会	4,000														
防災学習会	24,000														
防災訓練	34,000														
合計	62,000 円														

開催日	事業名	内容	決算額
4月〇日	自主防災組織総会	参加賞	4,000円
9月〇〇日	防災学習会	参加賞	4,000円
		会場使用料	20,000円
11月〇日	自主防災訓練	炊き出し訓練用食材	30,000円
		訓練用備品	4,000円
<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; display: inline-block;"> <p style="margin: 0;">★チェック事項★ 活動事業実施報告書の 「収入」「支出」の金額は、領 収書の金額とあっているか</p> </div>			



補助金等交付請求書

運営費  
記載例

令和 年 月 日

安城市長            は記入していただく箇所です。

住所(所在地)

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

○○自主防災会

会長 ○○ ○○

請求金額	金 40,000 円
補助事業等の名称	自主防災組織運営事業
交付決定年月日 [変更前交付決定日]	令和8年4月1日 指令8危機第3-○○号 [ 第 号 ]
交付決定額	40,000 円
交	事業完了日は、実績報告書の完了日と同じ日付を記入すること。
請求の根拠	安城市補助金等の予算執行に関する規則 様式第5(第9条関係) 事業完了日:令和○年○月○日

振込先には次の口座を指定します。											
金融機関名	○○○○ 銀行 店 信用金庫 ○○ 農業協同組合 所										
受取人 預金種別	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">1 普通</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2 当座</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3 貯蓄</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">口座番号</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	1 普通	2 当座	3 貯蓄	口座番号	○	○	○	○	○	○
1 普通	2 当座	3 貯蓄	口座番号	○	○	○	○	○	○		
(フリガナ)	○○チョウナイカイ ○○○○ ○○町内会 ○○○○										

この場合は、口座名義人が「町内会」のため、委任状が必要となります。(「自主防災」となっていれば、委任状は不要です)

# 補助金等交付請求書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

請求金額	金 円
補助事業等の名称	自主防災組織運営事業
交付決定年月日 [変更前交付決定日]	令和 年 月 日 指令 危機第 号 [ 第 号 ]
交付決定額	円
交付決定額のうち 受領済額	0 円
請求の根拠	安城市補助金等の予算執行に関する規則 様式 第5(第9条関係) 事業完了日: 年 月 日

受取人	振込先には次の口座を指定します。									
	金融機関名	銀 行 店 信用金庫 農業協同組合 所								
	預金種別	1 普通	2 当座	3 貯蓄	口座番号					
	(フリガナ)									
	口座名義人									

# 委 任 状

運営費  
記載例

令和 年 月 日

安 城 市 長

は記入していただく箇所です。

住 所 安城市〇〇町△△-□

氏 名 〇〇自主防災会  
会長 〇 〇 〇 〇



私は、自主防災組織運営費補助金に係る  
代金受領に関する権限を  
下記の者に委任します。

なお、振込先口座及び金額の内容は下記のとおり

記

★注意★  
必ずここは  
「〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇」  
という形で記入する。

1 受 任 者

住 所	安城市〇〇町△△-□
氏 名	〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇

2 振 込 先 口 座

金融機関名	〇〇〇〇農業協同組合
支店名	〇〇支店
預金種目	①. 普通    2. 当座    3. 貯蓄
口座番号	〇   〇   〇   〇   〇   〇   〇
フリガナ	〇〇チョウナイカイ 〇〇 〇〇
受取人 口座名義	〇〇町内会 〇〇 〇〇

請求書と同じ内容か確認する

3 金 額 及 び 内 容 内 訳

金 額	40,000                      円
内 容 内 訳	自主防災組織運営事業費補助金

# 委任状

令和 年 月 日

安城市長

住所

氏名

印

私は、自主防災組織運営費補助金に係る  
代金受領に関する権限を  
下記の者に委任します。

なお、振込先口座及び金額の内容は下記のとおりです。

記

1 受任者

住所	
氏名	

2 振込先口座

金融機関名	
本・支店名	
預金種目	1. 普通    2. 当座    3. 貯蓄
口座番号	
フリガナ	
受取人 口座名義	

3 金額及び内容内訳

金額	円
内容内訳	自主防災組織運営事業費補助金

## 安城市自主防災組織資機材整備事業補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、地震その他の災害に備え、地域における自主防災組織の活動を支援するため、防災資機材を購入する自主防災組織に対して、予算の範囲内で交付する安城市自主防災組織資機材整備事業補助金（以下「補助金」という。）に関し、安城市補助金等の予算執行に関する規則（昭和39年安城市規則第16号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「自主防災組織」とは、地域の自主防災活動を行うため、一又は複数の町内会を単位として組織し、市に届け出たものをいう。

2 この要綱において「連合自主防災組織」とは、複数の町内会を単位として組織された自主防災組織をいう。

(補助の対象等)

第3条 補助金の交付の対象となる事業は、自主防災組織が行う防災資機材の整備とする。

2 補助金の交付の対象となる経費（以下「補助対象経費」という。）及び補助率は、別表のとおりとする。

(補助限度額)

第4条 補助金の限度額（以下「補助限度額」という。）は、次の各号に掲げる自主防災組織を構成する町内会の世帯数の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

- |                      |      |
|----------------------|------|
| (1) 300世帯未満          | 20万円 |
| (2) 300世帯以上900世帯未満   | 30万円 |
| (3) 900世帯以上1,500世帯未満 | 40万円 |
| (4) 1,500世帯以上        | 50万円 |

2 前項の規定にかかわらず、連合自主防災組織又は水防組織を所管する自主防災組織にあつては、前項に規定する補助限度額の1.5倍の額を補助限度額とする。

3 前2項の規定にかかわらず、受水槽、緊急用ろ水装置又は井戸設置に係る資機材を購入する自主防災組織（前2項の規定による補助限度額が50万円未満の自主防災組織に限る。）にあつては、補助限度額を50万円とすることができる。この場合において、当該自主防災組織は、当該年度におけるこの要綱に基づく他の防災資機材の整備に係る補助を受けることができない。

4 前3項の規定にかかわらず、安城市自主防災組織育成助成事業補助金の交付決定を受けた事業を行う自主防災組織は、同じ年度内において、補助金の交付を受けることができない。

(補助金の額)

第5条 補助金の額は、補助対象経費に補助率を乗じて得た額又は補助限度額（同一年度内において補助金の交付決定を既に受けている場合は、当該補助金の合計金額を補助限度額から差し引いた額を補助限度額とする。）のいずれか低い額とする。ただし、補助金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、これに切り捨てるものとする。

(補助金の交付申請)

第6条 補助金の交付を受けようとする自主防災組織（以下「申請団体」という。）は、規則第4条に規定する申請書に、次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 防災資機材の説明書
- (2) 防災資機材の見積書
- (3) その他市長が必要と認める書類

(実績報告書の提出)

第7条 補助金の交付の決定を受けた申請団体は、補助事業が完了したときは、完了の日から起算して30日を経過した日又は当該年度の3月20日のいずれか早い期日までに、規則第8条に規定する実績報告書に、次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 領収書の写し
- (2) その他市長が必要と認める書類

附 則

- 1 この要綱は、平成15年10月9日から施行し、同年4月1日から適用する。
- 2 平成15年4月1日からこの要綱が施行されるまでの間に購入した防災資機材に係る補助金の交付申請については、第5条第2号中「見積書」とあるのは、「見積書又は領収書の写し」とする。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成19年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年12月1日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年4月1日から平成26年3月31日までの間において、補助事業に必要なエレベーター用救命セットを購入する場合は、第4条に規定する補助限度額に、その経費に係る補助額を加えた額を補助限度額とする。ただし、同条に規定する補助限度額の1.5倍の額を超えない範囲とする。
- 3 前項の場合において、エレベーター用救命セット以外の資機材の購入に対する補助限度額は、第4条に定める額とする。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

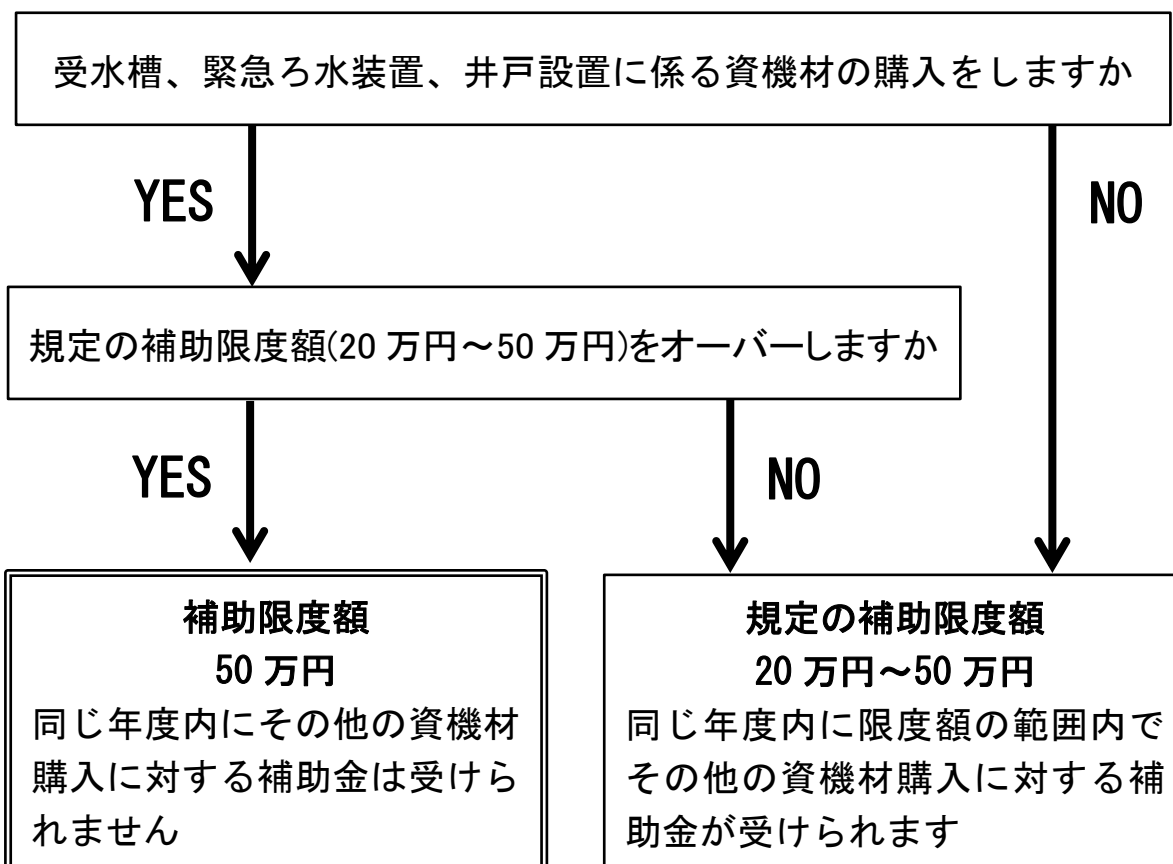
この要綱は、令和7年4月1日から施行する。

別表（第3条関係）

補助対象経費		補助率	
自主防災活動上必要な防災資機材で次の区分に該当するものの購入に要する経費	倉庫	防災用資機材倉庫（「防災倉庫」文字入れ費用を含み、造成工事費を除く。）又はポンプ格納庫	2分の1
	初期消火	街頭用消火器、街頭消火器詰め替え、消火器格納庫、バケツ、ホース、小型動力ポンプ等	
	情報連絡	ハンドマイク、トランシーバー、ラジオ等	
	避難、救出、救護	バール、丸太、折りたたみはしご、のこぎり、掛矢、おの、なた、スコップ、つるはし、番線カッター、ハンマー、一輪車、リヤカー、車椅子、救助用ボート、ヘルメット、救急セット、担架、毛布、チェーンブロック、チェーンソー、エンジンカッター、強力ライト、ロープ、番線、ビニルシート、テント、携帯用発電機、投光器、コードリール、土のう袋、トラ柵、三角コーン、エレベーター用救命セット（補助実績のないエレベーターに設置するものに限る。）、救助用工具セット、防災用トイレ等	
	給食・給水	かまど、鍋、釜、非常食（備蓄用）、ハンリ又は燃料（備蓄用）	3分の2
		受水槽、緊急用ろ水装置又は井戸設置に係る資機材（工事費を除く。）	
	家具等の転倒防止	金具取付けに必要な資機材（電動ドライバー等）。ただし、取付金具を除く。	2分の1
	感染症対策	マスク、フェイスシールド、医療用ガウン、使い捨て手袋、消毒液、体温計等	2分の1
	育児・妊産婦・生理	子ども用紙おむつ、子ども用簡易トイレ、子ども用おしりふき、ミルク、使い捨て哺乳瓶、ベビーフード、離乳食用使い捨てスプーン、ベビーコット、母乳パッド、生理用ナプキン	3分の2
	その他	標識又は被服で防災活動に必要なもの（被服は防水・耐火等防災仕様に限る。）	2分の1
その他市長が必要と認めるもの			

備考 防災用資機材倉庫には、「防災倉庫」と表記すること。

(参考) 補助金申請の考え方



# 補助金等交付申請書

**資機材  
記載例**

令和 年 月 日

安城市長

は記入していただく箇所です。

**購入前の申請が原則です**

住所(所在地)

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

○○自主防災会

**自署 or 自主防会長印 or 会長私印  
不可：町内会長印**

会長 ○○ ○○

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助事業等の名称

自主防災組織資機材整備事業

補助金等交付申請額

金

31,000

円

施行場所

○○町内会

地内

**着手日=申請日とする**

施行予定期間

着手

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

完了

令和 9 年 3 月 31 日

計画の概要及び効果

資機材整備による効果:

(例) 防災備蓄品を補充するため

購入資機材名:

(例) 防災用トイレ

**★チェック事項★**

- ①見積書・カタログ等の写しがあるか
- ②見積書の宛名は自主防災会宛となっているか
- ③補助金額に計算ミスはないか(補助金は収入合計の2分の1)  
※受水槽・育児・妊産婦・生理資機材等は3分の2
- ④補助金の金額は千円未満切り捨てとなっているか

又は設置場所:

○○町内会の防災資材庫

歳及  
備

助金

62,555

円

支出合計

62,555

円

他

31,000

円

内訳 購入費

62,555

円

31,555

円

**補助金の金額に1000円未満の端数が生じた場合は、切り捨てとなります。**

項を省略し、又は必要に

2 計画の概要及び効果並びに歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

# 補助金等交付申請書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助事業等の名称	自主防災組織資機材整備事業		
補助金等交付申請額	金	円	
施行場所	地内		
施行予定期間	着手	令和 年 月 日	
	完了	令和 9 年 3 月 31 日	
計画の概要及び効果	資機材整備による効果: ..... 購入資機材名: ..... 保管場所又は設置場所: .....		
歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法	収入合計	円	支出合計 円
	内訳 補助金	円	内訳 購入費 円
	その他	円	

**備考**

- 1 この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 2 計画の概要及び効果並びに歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

補助事業等実績報告書

資機材  
記載例

事業が完了したら、提出日を完了日以降かつ購入後30日以内の日付とし、提出してください。  
※実績報告書の提出最終期限は3月20日

令和 年 月 日

安城市

住所(所在地) [ ] は記入していただく箇所です。

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

自署 or 自主防会長印 or 会長私印  
不可：町内会長印

○○自主防災会

会長 ○○ ○○

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助金等交付  
決定年月日

令和○年○月○日  
指令8危機第2-○○号

補助事業等の名称

自主防災組織

着手日は交付決定の日付で固定です。  
完了日は、領収書の日付を記入。  
※領収書が複数ある場合は、領収書の日付が一番遅いものを記入。

施行場所

○○町○○

施行期間

着手 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

完了 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

★チェック事項★

- ①領収書の写しがあるか
- ②委任状があるか(振込口座名が○○町内会の場合)
- ③補助金額はあっているか(収入合計の2分の1)  
※受水槽・育児・妊産婦・生理資機材等は3分の2
- ④補助金の金額は千円未満の端数切り捨てとなっているか
- ⑤着手日・完了日の日付はあっているか

災害時に備えての資機材

購入した物品をご記入ください。

購入資機材名

(例)防災用トイレ

収入合計

62,555

円

支出合計

62,555

円

内訳 補助金

31,000

円

内訳 購入費

62,555

円

その他

31,555

円

補助金等交付決定通知書と相違がないことを確認してください。  
※補助金額に変更がある場合は、「変更申請書」を提出していただく必要があります。

2 事業実績及び効果並びに歳入歳出決算額の内容については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

補助事業等実績報告書

資機材  
記載例

事業が完了したら、提出日を完了日以降かつ購入後30日以内の日付とし、提出してください。  
※実績報告書の提出最終期限は3月20日

令和 年 月 日

安城市

住所(所在地) [ ] は記入していただく箇所です。

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

自署 or 自主防会長印 or 会長私印  
不可：町内会長印

○○自主防災会

会長 ○○ ○○

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助金等交付  
決定年月日

令和○年○月○日  
指令8危機第2-○○号

補助事業等の名称

自主防災組織

着手日は交付決定の日付で固定です。  
完了日は、領収書の日付を記入。  
※領収書が複数ある場合は、領収書の日付が一番遅いものを記入。

施行場所

○○町○○

施行期間

着手 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

完了 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

★チェック事項★

- ①領収書の写しがあるか
- ②委任状があるか(振込口座名が○○町内会の場合)
- ③補助金額はあっているか(収入合計の2分の1)  
※受水槽・育児・妊産婦・生理資機材等は3分の2
- ④補助金の金額は千円未満の端数切り捨てとなっているか
- ⑤着手日・完了日の日付はあっているか

災害時に備えての資機材

購入した物品をご記入ください。

購入資機材名

(例)防災用トイレ

収入合計

62,555

円

支出合計

62,555

円

内訳 補助金

31,000

円

内訳 購入費

62,555

円

その他

31,555

円

補助金等交付決定通知書と相違がないことを確認してください。  
※補助金額に変更がある場合は、「変更申請書」を提出していただく必要があります。

2 事業実績及び効果並びに歳入歳出決算額の内容については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

# 補助事業等実績報告書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助金等交付 決定年月日	令和 年 月 日 指令 危機第 号												
補助事業等の名称	自主防災組織資機材整備事業												
施行場所	地内												
施行期間	着手 令和 年 月 日 完了 令和 年 月 日												
事業実績及び効果	災害時に備えての資機材がより一層充実された。 <u>購入資機材名</u>												
歳入歳出決算額の内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">収入合計</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">円</td> <td style="width: 50%;">支出合計</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>内訳 補助金</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td>内訳 購入費</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	収入合計	円	支出合計	円	内訳 補助金	円	内訳 購入費	円	その他	円		
収入合計	円	支出合計	円										
内訳 補助金	円	内訳 購入費	円										
その他	円												

備考

- 1 この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 2 事業実績及び効果並びに歳入歳出決算額の内容については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。



# 補助金等交付請求書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

請求金額	金 円
補助事業等の名称	自主防災組織資機材整備事業
交付決定年月日 [変更前交付決定日]	令和 年 月 日 指令 危機第 号 [ 第 号 ]
交付決定額	円
交付決定額のうち 受領済額	円
請求の根拠	安城市補助金等の予算執行に関する規則 様式第5 (第9条関係) 事業完了日:令和 年 月 日

受取人	振込先には次の口座を指定します。									
	金融機関名	銀 行 店 信用金庫 農業協同組合 所								
	預金種別	1 普通	2 当座	3 貯蓄	口座番号					
	(フリガナ)									
	口座名義人									

# 委任状

資機材

令和 年 月 日

安 城 市 長

は記入していただく箇所です。

住 所 安城市〇〇町△△-□

氏 名 〇〇自主防災会  
会長 〇 〇 〇 〇



私は、自主防災組織資機材整備事業費補助金に係る  
代金受領に関する権限を  
下記の者に委任します。

なお、振込先口座及び金額の内容は下記のとおりです。

記

1 受 任 者	住 所	安城市〇〇町△△-□
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; color: red; margin: 0;">★注意★ 必ずここは 「〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇」 という形で記入する。</p> </div>	住 居 番 号	〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇
	2 振 込 先 口 座	金融機関名
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center; color: red; margin: 0;">請求書と同じ内容か確認する</p> </div>	支店名	〇〇支店
	預金種目	①. 普通    2. 当座    3. 貯蓄
	口座番号	〇   〇   〇   〇   〇   〇   〇
	フリガナ	〇〇チョウナイカイ 〇〇 〇〇
	受取人 口座名義	〇〇町内会 〇〇 〇〇
3 金額及び内容内訳	金 額	31,000                      円
	内容内訳	自主防災組織資機材整備事業費補助金

# 委 任 状

令和 年 月 日

安 城 市 長

住 所

氏 名

印

私は、自主防災組織資機材整備事業費補助金に係る  
代金受領に関する権限を

下記の者に委任します。

なお、振込先口座及び金額の内容は下記のとおりです。

記

1 受 任 者

住 所	
氏 名	

2 振 込 先 口 座

金融機関名	
本・支店名	
預金種目	1. 普通    2. 当座    3. 貯蓄
口座番号	
フリガナ	
受取人 口座名義	

3 金額及び内容内訳

金 額	円
内容内訳	自主防災組織資機材整備事業費補助金

## 自主防災組織の資機材の装備基準

自主防災組織に必要な防災資機材は概ね下表になります。あくまで、目安ですので組織の規模や地域の実情に応じて検討のうえ整備してください。

目 的	防 災 資 機 材
① 情報収集・伝達用	携帯用無線機、受令機、電池メガホン、携帯用ラジオ、腕章、住宅地図、模造紙、メモ帳、油性マジック(安否・被害状況等、情報収集・提供の際に用いる筆記用具として)等
② 初期消火用	可搬式動力ポンプ、可搬式散水装置、簡易防火水槽、ホース、スタンドパイプ、格納器具一式、街頭用消火器、防火衣、鳶口、ヘルメット、水バケツ、防火井戸等
③ 水防用	救命ボート、救命胴衣、防水シート、シャベル、ツルハシ、スコップ、ロープ、かけや、くい、土のう袋、ゴム手袋等
④ 救出用	パール、はしご、のこぎり、スコップ、なた、ジャッキ、ペンチ、ハンマー、ロープ、チェーンソー、エンジンカッター、チェーンブロック、油圧式救助器具、可搬式ウインチ、防煙・防塵マスク等
⑤ 救護用	担架、救急箱、テント、毛布、シート、簡易ベッド等
⑥ 避難所・避難用	リヤカー、発電機、警報器具、携帯用投光器、標識板、標旗、強力ライト、簡易(携帯)トイレ、寝袋、組立式シャワー等
⑦ 給食・給水用	炊飯装置、鍋、こんろ、ガスボンベ、給水タンク、緊急用ろ水装置、飲料用水槽等
⑧ 訓練・防災教育用	模擬消火訓練装置、放送機器、119番訓練用装置、組み立て式水槽、煙霧機、視聴覚機器(ビデオ・映写機等)、火災実験装置、訓練用消火器、心肺蘇生用訓練人形、住宅用訓練火災警報器等
⑨ その他	簡易資機材倉庫、ビニールシート、携帯電話機用充電器、除雪機等

参考：「自主防災組織の手引（総務省消防庁）」より抜粋

## 安城市地域防災マップ作成要領

災害を知り、地域を知ること、災害への備えの一つとなります。そのため、災害が起きた際に自分の地域にどのような危険がひそんでいるかを日ごろから把握しておき、災害時には速やかに避難することが重要です。また、防災活動のための施設・資機材は、どこにどんなものがあるのかなど、一目でわかる情報が必要です。

そのための地域防災マップ（以下、「マップ」という。）を自主防災組織が自主的に作成するにあたり、以下の要領を参考としてください。

### 1 マップの基図について

マップの基図に市販の住宅地図等を使用することは、著作権法上問題となることがありますので、ご注意ください。安城市都市計画基本図を使用される場合は、市役所で用意できます。

### 2 マップ掲載項目について

マップに表すものとして、概ね次のものが考えられます。

- (1) 避難所（小中高校、地区公民館、保育園、福祉センター）
- (2) 避難場所（最寄りの公園、広場、駐車場などのオープンスペース）
- (3) 避難経路
- (4) 行政機関（市役所、消防署、警察署等）
- (5) 医療機関（保健所、病院、医院等）
- (6) 町内会事務所・町内の公民館、自主防災会の役員宅等
- (7) 消防水利・消火用具（貯水槽、消火栓、消火器等）
- (8) 井戸水等の場所（災害時使用について所有者の承諾が必要です）
- (9) 危険箇所（急傾斜地、転落防止柵のない水路等）
- (10) 浸水箇所（低地、詰まりやすい水路、水位等の監視箇所等）
- (11) 防災資材庫等
- (12) その他

※ 住民の方のプライバシーには充分配慮してください。

※ 内容については、上記のほか、地域の実情に合った項目を選択して作成してください。

### 3 補助金の活用について

#### (1) 補助の対象について

マップ作成に関する経費の補助の対象は次のとおりです。

- ① マップ基図の購入費
- ② 印刷費
- ③ マップに掲載する井戸の水質検査に伴う手数料

**※ただし、過去5年間に検査した井戸は対象外となります。**

- ④ その他市長が必要と認めるもの

#### (2) 井戸水の水質検査及び所有者の同意について

- ① 検査手続きは、愛知県衣浦東部保健所安城保健分室に直接していただくことになります。(予約制)

**連絡先：0566-75-7441 (代)**  
**検査料：1件 9,600円程度 (11項目検査)**

- ② 検査した井戸を災害時に地域で活用するためには、別紙「災害時井戸水提供同意書」を参照のうえ、所有者の同意を事前に得てください。補助金交付申請の際にその写しが必要となります。

#### (3) 補助金の交付について

補助の対象経費のうち、50,000円を限度として補助金を交付します。ただし、マップ作成に必要な井戸水検査に伴う経費は、上記限度額に含まれないものとし、全額補助とします。

### 4 マップの活用について

作成したマップは、自主防災組織が管理保管して諸活動の資料としてください。

(別紙)

## 災害時井戸水提供等同意書

令和 年 月 日

自主防災組織会長

住 所 安城市 \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

電 話 \_\_\_\_\_

私の所有する下記の井戸について、災害時に地区に井戸水を提供すること、及び井戸の所在地、所有者氏名を地区に公表することに同意します。

### 記

井戸の所在地	町
井戸の深さ	1 10m未満    2 30m未満    3 30m以上
揚水設備	1 電動ポンプ    2 手動ポンプ    3 両方可能 4 その他 ( )
発電設備	1 有    2 無
使用状況	1 明治    2 大正    3 昭和 4 平成    5 令和                      年から使用開始
使用頻度	1 毎日    2 時々    3 使用していない
井戸水の用途	1 飲料水    2 生活用水    3 散水 4 その他 ( )
蛇口の位置	1 屋内    2 屋外    3 両方

※該当する項目に○を付けてください。(わかる範囲で結構です。)

## 安城市地域防災マップ作成事業補助金交付要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、地震その他の災害に備え、地域住民の安全な避難の一助とするため、地域防災マップを作成する自主防災組織に対して予算の範囲内で交付する安城市地域防災マップ作成事業補助金（以下「補助金」という。）の交付に関し、安城市補助金等の予算執行に関する規則（昭和39年安城市規則第16号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

### (補助の対象)

第2条 自主防災組織が主体となって行う地域防災マップ作成事業（以下「補助事業」という。）に対し、補助金を交付する。

### (補助金の額)

第3条 補助金の額は、補助事業に要した経費の合計額とし、補助限度額は、一自主防災組織につき5万円とする。

2 前項の規定にかかわらず、連合自主防災組織及び水防組織を所管する自主防災組織に係る補助限度額は、前項に規定する額の1.5倍の額とする。

3 前2項の場合において、補助事業に必要な井戸水検査に伴う経費については、補助限度額に含めないものとし、その全額を補助する。

4 補助金の額の合計額に1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

### (補助金の交付申請)

第4条 補助金の交付を受けようとする自主防災組織は、規則第4条に規定する補助金等交付申請書に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(1) 見積書の写し

(2) 補助事業に必要な井戸水検査をする場合は、試験検査依頼書の写し、井戸水所有者の同意書及び検査箇所一覧表

(3) その他市長が必要と認める書類

### (実績報告の提出)

第5条 補助金の交付の決定を受けた申請団体は、補助事業が完了したときは、完了の日から起算して30日を経過した日又は当該年度の3月20日のいずれか早い期日までに、規則第8条第1項に規定する補助事業等実績報告書に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

- (1) 領収書の写し
- (2) 補助事業に必要な井戸水検査をした場合は、その試験検査成績書の写し
- (3) その他市長が必要と認める書類  
(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年度4月1日から施行する。

# 補助金等交付申請書

**マップ  
記載例**

令和 年 月 日

安城市長

は記入していただく箇所です。

**事業実施前の申請が必要です**

住所(所在地)

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

**自署 or 自主防会長印 or 会長私印  
不可：町内会長印**

○○自主防災会

会長 ○○ ○○

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助事業等の名称	自主防災組織地域防災マップ作成事業	
補助金等交付申請額	金	97,000
施行場所	○○町内会	市内
施行予定期間	着手	令和○年○月○日
	完了	令和9年3月31日
計画の概要及び効果	地域防災マップの作成、印刷 地域防災マップを作成することにより、地域住民の防災意識を高めるとともに、災害に備える	
	収入合計	107,500 円
	補助金	97,000 円
	その他	10,500 円
	支出合計	107,500 円
	内訳	印刷費 60,000 円
		井戸水質検査費 47,500 円
	その他	円

上限金額は原則50,000円ですが、水質検査をした井戸水をマップに掲載する場合に限り、検査料を補助することができます。

**着手日=申請日とする**

- ★チェック事項★**
- ①見積書・カタログ等の写しがあるか
  - ②見積書の宛名は自主防災会となっているか
  - ③補助金等交付申請額に計算ミスはないか
  - ④井戸水水質検査実施の場合、試験検査依頼書・井戸所有者の同意書・検査箇所一覧表があるか

印刷費 50,000円  
+  
井戸水質検査費 47,000円  
(全額補助、千円未満切り捨て)

必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

# 補助金等交付申請書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助事業等の名称	自主防災組織地域防災マップ作成事業		
補助金等交付申請額	金	円	
施行場所	地内		
施行予定期間	着手	令和 年 月 日	
	完了	令和 9 年 3 月 31 日	
計画の概要及び効果	地域防災マップの作成、印刷 地域防災マップを作成することにより、地域住民の防災意識を高めるとともに、災害に備える		
歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法	収入合計	円	支出合計 <span style="float: right;">円</span>
	内訳 補助金	円	内訳 印刷費 <span style="float: right;">円</span>
	その他	円	井戸水質検査費 <span style="float: right;">円</span>
			その他 <span style="float: right;">円</span>

**備考**

- 1 この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 2 計画の概要及び効果並びに歳入歳出予算額の内容及び経費の使用方法については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

# 補助事業等実績報告書

**マップ  
記載**

安城市

事業が完了したら、提出日を完了日以降かつ購入後30日以内の日付とし、提出してください。  
※実績報告書の提出最終期限は3月20日

令和 年 月 日

住所(所在地) [ ] は記入していただく箇所です。  
安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名) **自署 or 自主防会長印 or 会長私印  
不可：町内会長印**  
○○自主防災会

会長 ○○ ○○ (※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助金等交付決定年月日	令和○年○月○日 指令8危機第4-○○号
補助事業等の名称	自主防災組織
施行場所	○○町
施行期間	着手 令和○年○月○日 完了 <b>令和○年○月○日</b>

着手日は交付決定の日付で固定です。  
完了日は、領収書の日付を記入。  
※領収書が複数ある場合は、領収書の日付が一番遅いものを記入。

★チェック事項★

- ①領収書の写し・作成したマップがあるか
- ②委任状があるか(振込口座名が○○町内会の場合)
- ③補助金額はあっているか  
※補助金の上限は5万円、井戸水質検査費は全額補助となります
- ④井戸水水質検査をした場合は、その試験検査成績書の写し
- ⑤着手日・完了日の日付はあっているか

合計	<b>107,500</b> 円	支出合計	<b>107,500</b> 円
補助金	97,000円	内訳 購入費	<b>60,000</b> 円
その他	<b>10,500</b> 円	井戸水質検査費	<b>47,500</b> 円

補助金等交付決定通知書と相違がないことを確認してください。  
※補助金額に変更がある場合は、「変更申請書」を提出していただく必要があります。

# 補助事業等実績報告書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

(※)

(※) 本人(代表者)が手書きしない場合は、記名押印してください。

補助金等交付 決定年月日	令和 年 月 日 指令 危機第 号																
補助事業等の名称	自主防災組織地域防災マップ作成事業																
施行場所	地内																
施行期間	着手 令和 年 月 日 完了 令和 年 月 日																
事業実績及び効果	地域防災マップを作成することにより、地域住民の防災意識を高めるとともに、災害に備えることができた																
歳入歳出決算額の内容	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">収入合計</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">円</td> <td style="width: 50%;">支出合計</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td>内訳 補助金</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td>内訳 購入費</td> <td style="text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td>井戸水質 検査費</td> <td style="text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td style="text-align: center;">円</td> </tr> </table>	収入合計	円	支出合計	円	内訳 補助金	円	内訳 購入費	円	その他	円	井戸水質 検査費	円			その他	円
収入合計	円	支出合計	円														
内訳 補助金	円	内訳 購入費	円														
その他	円	井戸水質 検査費	円														
		その他	円														

**備考**

- 1 この様式中必要としない記載事項を省略し、又は必要に応じて記載事項を修正することができる。
- 2 事業実績及び効果並びに歳入歳出決算額の内容については、必要に応じて詳細を明らかにする書類を添付するものとする。

補助金等交付請求書

**マップ  
記載例**

令和 年 月 日

安城市長



は記入していただく箇所です。

住所(所在地)

安城市 ○○町△△-□

氏名(団体名及び代表者氏名)

○○自主防災会

会長 ○○ ○○

請求金額	金 97,000 円
補助事業等の名称	自主防災組織地域防災マップ作成事業
交付決定年月日 [変更前交付決定日]	令和○年○月○日 指令8危機第4-○○号 [ 第 号 ]
交付決定額	97,000 円
交付決定額の変更	0 円
請求の根拠	安城市補助金等の予算執行に関する規則 様式第5(第9条関係) 事業完了日:令和○年○月○日

**実績報告書の完了日と同じ日付を記入**

振込先には次の口座を指定します。	
金融機関名	銀行 店 ○○○○ 信用金庫 ○○ 農業協同組合 所
口座番号	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
口座名義人	○○チョウナイカイ ○○○○ ○○町内会 ○○○○

**この場合は、口座名義人が「町内会」のため、委任状が必要となります。(「自主防災」となっていれば、委任状は不要です)**

# 補助金等交付請求書

令和 年 月 日

安城市長

住所(所在地)

安城市

氏名(団体名及び代表者氏名)

請求金額	金 円
補助事業等の名称	自主防災組織地域防災マップ作成事業
交付決定年月日 [変更前交付決定日]	令和 年 月 日 指令 危機第 号 [ 第 号 ]
交付決定額	円
交付決定額のうち 受領済額	0 円
請求の根拠	安城市補助金等の予算執行に関する規則 様式第 5(第9条関係) 事業完了日:令和 年 月 日


受取人	振込先には次の口座を指定します。									
	金融機関名	銀 行 店 信用金庫 農業協同組合 所								
	預金種別	1 普通	2 当座	3 貯蓄	口座番号					
	(フリガナ)									
	口座名義人									

# 委任状



令和 年 月 日

安城市長

は記入していただく箇所です。

住所 安城市〇〇町△△-□

氏名 〇〇自主防災会  
会長 〇 〇 〇 〇



私は、自主防災組織地域防災マップ作成事業費補助金に係る  
代金受領に関する権限を  
下記の者に委任します。

なお、振込先口座及び金額の内容は下記のとおりです。

## 記

1 受任者	住所	安城市〇〇町△△-□
	氏名	〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇
2 振込先口座	金融機関名	〇〇〇〇農業協同組合
	支店名	〇〇支店
	預金種目	①. 普通 2. 当座 3. 貯蓄
	口座番号	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
	フリガナ	〇〇チョウナイカイ 〇〇 〇〇
	受取人 口座名義	〇〇町内会 〇〇 〇〇

★注意★  
必ずここは  
「〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇」  
という形で記入する。

請求書と同じ内容か確認する


3 金額及び内容内訳	金額	97,000 円
	内容内訳	自主防災組織地域防災マップ作成事業費補助金

# 委任状



令和 年 月 日

安城市長

は記入していただく箇所です。

住所 安城市〇〇町△△-□

氏名 〇〇自主防災会  
会長 〇 〇 〇 〇



私は、自主防災組織地域防災マップ作成事業費補助金に係る  
代金受領に関する権限を  
下記の者に委任します。

なお、振込先口座及び金額の内容は下記のとおりです。

## 記

1 受任者	住所	安城市〇〇町△△-□
	氏名	〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇
2 振込先口座	金融機関名	〇〇〇〇農業協同組合
	支店名	〇〇支店
	預金種目	①. 普通 2. 当座 3. 貯蓄
	口座番号	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
	フリガナ	〇〇チョウナイカイ 〇〇 〇〇
受取人 口座名義	〇〇町内会 〇〇 〇〇	

★注意★  
必ずここは  
「〇〇町内会 会長 〇〇 〇〇」  
という形で記入する。

請求書と同じ内容か確認する

3 金額及び内容内訳	金額	97,000 円
	内容内訳	自主防災組織地域防災マップ作成事業費補助金

# 委 任 状

令和 年 月 日

安 城 市 長

住 所

氏 名

⑩

私は、自主防災組織地域防災マップ作成事業費補助金に係る  
代金受領に関する権限を  
 下記の者に委任します。

なお、振込先口座及び金額の内容は下記のとおりです。

## 記

1 受 任 者

住 所	
氏 名	

2 振 込 先 口 座

金融機関名	
本・支店名	
預金種目	1. 普通    2. 当座    3. 貯蓄
口座番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
フリガナ	
受取人 口座名義	

3 金額及び内容内訳

金 額	円
内容内訳	自主防災組織地域防災マップ作成事業費 補助金

## 令和〇〇年度 自主防災訓練等 ( 計画・報告 ) 書

計画又は報告のいずれかを○で囲んでください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日				
安 城 市 長				
届出者	住所	安城市〇〇町〇〇-〇		
	氏名	〇〇 〇〇		
	電話	〇〇 - 〇〇〇〇		
防災会名	〇〇町自主防災会	会長氏名	〇〇 〇〇	
訓練日時	令和〇〇年〇〇月〇〇日 ( 土 )	午前 午後	〇時〇〇分から 午前 午後 〇時〇〇分まで	
訓練場所	〇〇町公園	参加人員	300 名	
訓練内容	①防災講演 ②DVD等研修 ③家具転倒防止訓練 ④図上訓練 ⑤地震体験訓練 ⑥資機材取扱訓練 ⑦安否確認訓練 ⑧情報収集訓練 ⑨情報伝達訓練 ⑩消火訓練 ⑪応急手当 ⑫救出訓練 ⑬搬送訓練 ⑭濃煙通過 ⑮避難訓練 ⑯給食訓練 ⑰給水訓練 ⑱避難所訓練 ⑲車いす訓練 ⑳マンホール設置 ㉑その他 ( )			
資 材	・プロジェクター	台	・濃煙テント	式
	・スクリーン	基	・救出用訓練人形	体
	・防災DVD (NO.をご記入ください)	本 ( )	・ジャッキ	台
	・トランシーバー (2台まで貸出可)	台	・竹、毛布(担架用)	組
	・家具、家具固定台	台	・ハイゼックス	枚
	・固定金具等	式	・HUGセット	式
	・水消火器	20本	・車椅子	台
	・標的	2台	・訓練用AED、人形 (以下、消防職員欄に人数をご記入ください)	式
	・三角巾	枚	・地震体験車(なまず号)	※別途申込
・聴覚障害者支援セット	式	・そのほか	( )	
参加内訳	スタッフ	防災役員 5名 他役員 10名 消防団員 名 指導員 5名		
	参加者	一般参加者 260名 要援護者 5名 高校生 名 中学生 15名 小学生 名 その他 名 合計 300名		
派遣希望人数 (※派遣を希望する訓練を、○で囲んでください。)		危機管理課 1名	消防職員 名	
		( ⑩ ) ( ⑫・⑬・⑭・⑰ )	( ⑪・AED )	
危機管理課使用欄 (派遣者名)		( )	( )	

- 備考1 資材の貸出・返却は、原則金・月曜日の午前9時に安城消防署にて行います。(訓練が土・日曜日の場合)
- 備考2 安城市の公園を使用する場合、管理者の利用許可が必要となります。
- 備考3 訓練実施後、報告書をご提出ください。実施後の報告書は変更箇所を添削してください。
- 備考4 危機管理課の派遣を希望する際は、必ず詳細をご連絡ください。訓練内容によっては、対応できないものや、日程により実施できない場合がありますのでご了承ください。
- 備考5 地区防災計画を策定されている場合は、計画に沿った訓練を実施してください。
- 備考6 訓練計画提出時、訓練報告書提出時に、裏面のアンケートにご協力をお願いします。

課長	補佐	係長	担当

# 令和 年度 自主防災訓練等（計画・報告）書

計画又は報告のいずれかを○で囲んでください。

令和 年 月 日					
安 城 市 長					
届出者		住所			
氏名		電話			
防災会名		会長氏名			
訓練日時	令和 年 月 日 ( )	午前 時 分から 午後 時 分まで	午前 時 分まで 午後 時 分まで		
訓練場所		参加人員	名		
訓練内容	①防災講演 ②DVD等研修 ③家具転倒防止訓練 ④図上訓練 ⑤地震体験訓練 ⑥資機材取扱訓練 ⑦安否確認訓練 ⑧情報収集訓練 ⑨情報伝達訓練 ⑩消火訓練 ⑪応急手当 ⑫救出訓練 ⑬搬送訓練 ⑭濃煙通過 ⑮避難訓練 ⑯給食訓練 ⑰給水訓練 ⑱避難所訓練 ⑲車いす訓練 ⑳マンホール設置 ㉑その他 ( )				
資 材	・プロジェクター	台	・濃煙テント	式	
	・スクリーン	基	・救出用訓練人形	体	
	・防災DVD (NO.をご記入ください)	( )	本	・ジャッキ	台
			組	・竹、毛布(担架用)	組
	・トランシーバー (2台まで貸出可)	台	枚	・ハイゼックス	枚
	・家具、家具固定台	台	式	・HUGセット	式
	・固定金具等	式	台	・車椅子	台
	・水消火器	本	・訓練用AED、人形 (以下、消防職員欄に人数をご記入ください)		式
	・標的	台			
	・三角巾	枚	・地震体験車(なまず号)	※別途申込	
・聴覚障害者支援セット	式	・そのほか	( )		
参加内訳	ス タ ッ プ	防災役員 名	他役員 名	消防団員 名	指導員 名
	参 加 者	一般参加者 名	要援護者 名	高校生 名	中学生 名
		小学生 名	その他 名	合計 名	
派遣希望人数 (※派遣を希望する訓練を、○で囲んでください。)		危機管理課 名 (⑩・⑫・⑬・⑭・⑯)	消防職員 名 ( ⑪ ・ AED )		
危機管理課使用欄(派遣者名)		( )	( )		

- 備考1 **資材の貸出・返却は、原則金・月曜日の午前9時に安城消防署にて行います。**（訓練が土・日曜日の場合）
- 備考2 安城市の公園を使用する場合、管理者の利用許可が必要となります。
- 備考3 訓練実施後、**報告書をご提出ください。**実施後の報告書は変更箇所を添削してください。
- 備考4 危機管理課の派遣を希望する際は、必ず詳細をご連絡ください。**訓練内容によっては、対応できないものや、日程により実施できない場合がありますのでご了承ください。**
- 備考5 **地区防災計画を策定されている場合は、計画に沿った訓練を実施してください。**
- 備考6 訓練計画提出時、訓練報告書提出時に、**裏面のアンケートにご協力をお願いします。**

課長	補佐	係長	担当



# 貸出用防災DVD一覧表

令和7年4月1日 現在

NO.	種別	タイトル	内容	時間 (分)	制作	製作年	備考
1	DVD	チャレンジ防災48	地域で学校ですぐに使える！		消防庁		2本
2	DVD	東海地震を知る	沈黙の30年で見えた巨大地震の姿	40			1本
3	DVD	その時、あなたはどうする！	緊急地震速報のしくみと心得	10	気象庁		1本
4	DVD	平成18年度安城市防災講演会	旧山古志村 「長島 忠美氏」による講話	85		H18	1本
5	DVD	自主防災組織の救出訓練用ビデオ		28			3本
6	DVD	あっ！どうする？ そうなる前の防災対策	まな・かな姉妹によるナビゲーション	70	愛知県	H19	4本(内 2本英語)
7	DVD	20世紀 日本の地震災害	過去の震災を振り返り、どう 備え、どう対処すればよいの か答えを探る	40	(財)日本気象協会	H15	1本
8	DVD	NHKクローズアップ現代 あなたに”救える命”があります	心臓停止に立ち向かう	30		H17.10.3 放送	1本
9	DVD	地震だ！そのときどうする？	自分を守りみんなで助け合おう	18	消防科学総合 センター		5本
10	DVD	伊勢湾台風から半世紀	知ろう風水害 考えよう防災	124	愛知県	H21	1本
11	DVD	ふせごう	家具等の転倒防止対策	21	消防科学総合 センター	H21	4本
12	DVD	地震に備えて 今、やるべきこと	緊急地震速報が流れたらどう する？	23	映学社	H21	1本
13	DVD	あなたの街を襲う大地震	検証・震度6弱・被害軽減・駿 河湾の地震	22	映学社	H21	1本
14	DVD	津波から生き延びるために	知る・行動する	15	消防科学総合 センター	H22	2本
15	DVD	サル太郎 地震には負けないぞ！ ～地震への備え大作戦～	幼児・低学年向け学習アニメ	15	映学社		2本
16	DVD	三河地震 地震体験談	安城の被災者に聴く	約30 分×4 人	安城市	H23	3本
17	DVD	デジタル防災紙芝居	東南海地震・三河地震の証 言/伊勢湾台風の証言	30	RSY	H22	2本
18	DVD	テレビカメラがみた東日本大 震災	震災・津波の記録	105	仙台放送	H24	1本
19	DVD	自分の命は自分で守る	3.11津波災害の状況、防災指 導	96	内閣府		1本
20	DVD	東日本大震災～宮城県石巻 市災害記録～第1巻	震災がもたらした各課題ほ か	32	宮城県石巻市	H25	1本
21	DVD	東日本大震災～宮城県石巻 市災害記録～第2巻	避難所・ボランティア・ライフ ライン・災害医療ほか	25	宮城県石巻市	H25	1本
22	DVD	東日本大震災～宮城県石巻 市災害記録～第3巻	仮設住宅・文化財・学校ほ か	28	宮城県石巻市	H25	1本
23	DVD	東日本大震災復興支援記録	全日本冠婚葬祭互助協会40 周年記念	43	博報堂	H25	1本
24	DVD	3月11日 東日本大震災 岩手の記録	あの日あの時、カメラマンの 記録、メカニズム、語り継ぐ 心	120	岩手朝日テレビ	H24	1本
25	DVD	マグニチュード 明日への 架け橋	全国劇場公開作品(緒方直 人・薬師丸ひろ子ほか)	90	日本防火協会	H9	1本

NO.	種別	タイトル	内容	時間 (分)	制作	製作年	備考
26	DVD	防災ナマズマンの地震はかならずやってくる	愛知県防災アニメ	20	愛知県		4本
27	DVD	急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！	高学年向け 発達した積乱雲による災害・事故防止啓発		気象庁	H25	2本
28	DVD	HERO ～わがまちの消防団～	近年の災害と消防団/消防団の現状と課題/これからの消防団 ほか	24	消防科学総合センター	H19	1本
29	DVD	あなたの想いで、できることがある。消防団	消防団PR DVD	16	消防科学総合センター		1本
30	DVD	ドラマで見る 災害時要援護者対策の進め方	災害時要援護者情報の共有/避難支援プランの作成 ほか(字幕付き)		内閣府	H19	1本
31	DVD	まず命を守る備え 集合住宅・マンションの防災対策	文部科学省選定 大震災に備える防災安全対策シリーズ	22	映学社	H26	1本
32	DVD	災害時要援護者の支援とともに生きのびるための自助・共助	ともに生きのびるためにはなにが必要なのか。東日本大震災の教訓を踏まえた市民向けの啓発教材(字幕付き)	17	東映	H26	1本
33	DVD	避難所の開設・運営～その時皆さんの力が必要です～	地域の防災拠点としての避難所の役割、開設・運営の流れ、東日本大震災で得られた教訓などを解説(字幕付き)	17	パール商事	H26	2本
34	DVD	大地震発生！改訂版 東日本大震災・阪神・淡路大震災から学ぶ	大地震を体験した被災者の話から「本当に学ぶべき教訓」を探る	18	東映	H23	1本
35	DVD	問われる住民の防災力 自助・共助の輪を広げよう	本造住宅密集地や津波が予想されている沿岸の自主防災組織、東日本大震災で実際に津波から逃れた人の体験談も紹介しながら、大地震に備える自助・共助の大切さを考えます	22	映学社	H25	1本
36	DVD	気象災害から命を守る 『想定外』は、いま起きるかもしれない	局地的豪雨(ゲリラ豪雨)とそれに伴う災害を中心に取り上げ、気象に関する正しい知識と命を守るすべを伝えます	21	東映	H27	1本
37	DVD	熊本地震から学ぶ こんな対策があなたを救う	熊本地震の大きな特徴を5つ挙げ、そこから学ぶことのできる教訓を、被害に遭われた方のインタビューや資料映像に加え、各分野の専門家による解説を交えて紹介	21	東映	H28	1本
38	DVD	地域が主役 避難所の開設と運営のしかた	避難所について基本的なことを示し、過去の災害からどんな教訓が得られたか紹介。地域での訓練の事例を通して注意点を解説し、避難所をより良いするものにするヒントを提供	24	映学社	H29	1本

NO.	種別	タイトル	内容	時間 (分)	制作	製作年	備考
37	DVD	熊本地震から学ぶ こんな対策があなたを救う	熊本地震の大きな特徴を5つ挙げ、そこから学ぶことのできる教訓を、被害に遭われた方のインタビューや資料映像に加え、各分野の専門家による解説を交えて紹介	21	東映	H28	1本
38	DVD	地域が主役 避難所の開設と運営のしかた	避難所について基本的なことを示し、過去の災害からどんな教訓が得られたか紹介。地域での訓練の事例を通して注意点を解説し、避難所をより良いするものにするヒントを提供	24	映学社	H29	1本
39	DVD	ともに、前へ ～過去から未来を創ろう、 中学生の力で～	地震の仕組み、津波の伝わり方。東日本大震災直後の各中学校の様子、中学生のボランティア活動など	16	仙台市中学校長会 宮城教育大学教育復興 支援センター	H27	1本
40	DVD	目指せ！ 災害に強いまち -自助・共助で自然災害のリスクに立ち向かう-	過去の災害の振り返り。自助・共助・公助について。知識を合わせて防災の下地作り、みんなで助け合う防災活動の手順の紹介	21	教配	H29	1本
41	DVD	熊本・大阪北部大地震から学ぶ 避難生活の心がまえ	避難生活中のトイレやエコノミークラス症候群の問題、障害者や女性に配慮した避難所のあり方、在宅避難のポイントを紹介	24	映学社	H30	1本
42	DVD	災害時要援護者の支援 ともに生きのびるための自助・共助	東日本大震災の教訓を踏まえ、要援護者自身の自助、周囲の人々の共助のあり方を見つめ直すための啓発教材(字幕対応)	17	東映	H30	1本
43	DVD	地震・水害から命を守る 生き抜くための自助・共助	地震・水害などの災害が発生した際の命を守る備えと行動のポイントをドラマで描き紹介	24	東映	H31	1本
44	DVD	全員参加の自主防災 災害に強いまちづくり	自主防災組織とは何か、日頃どんな活動が必要なのか、実際の例を交えて紹介	23	映学社	R2	1本
45	DVD	災害から一人の命も取り残さないために 要配慮者の備えと避難行動	要配慮者の命を守るために、どう備え、どう行動すれば良いのか、当事者の方々への取材を交えて紹介	27	東映	R3	1本
46	DVD	能登半島の地震 震度7 広い範囲で起こった強い揺れ	能登半島地震から得られた教訓をもとに、今後発生することが予想される巨大地震から生き延びるための対策をインタビュー映像を交えながら紹介	23	映学社	R6	1本

## 自主防災訓練の資機材貸出について

市では、自主防災訓練を実施する際に、下記のとおり資機材の貸出を行います。

### 1 対象

市内自主防災組織

### 2 貸し出すことができる資機材

・プロジェクター	・三角巾
・スクリーン	・濃煙テント
・防災DVD	・救出用訓練人形
・トランシーバー (2台まで貸出可)	・ジャッキ
・家具、家具固定台 (講習はほっぷ等へ依頼)	・竹、毛布(担架用)
・固定金具等 (講習はほっぷ等へ依頼)	・ハイゼックス
・水消火器	・HUGセット
・標的	・車椅子
・視覚障害者支援セット	・訓練用AED、人形
	・地震体験車(なまず号) (別途申込)
	・自主防災組織講座用PC

・貸出物品については、先着順となります。

・貸出日が被った場合は、貸し出すことができませんのでご了承下さい。

### 3 申込み方法

貸し出しを希望する自主防災組織は、「自主防災訓練等計画書」の「資材」の欄に必要数をご記入していただき、危機管理課にご提出ください。

## 自主防災組織向け地震体験車（なまず号） 利用申込受付方法について

- 市への申込みは先着順ではなく、期間内の受付です。
- 申込み多数の場合は抽選を行います。  
詳細は以下のとおりです。

### 1 申込み期間

- (1) 前期（4月1日～9月30日）に自主防災訓練を行う場合  
前年10月～1月まで
- (2) 後期（10月1日～3月31日）に自主防災訓練を行う場合  
4月～6月まで

### 2 申込み方法

申込み期間内に、危機管理課へ直接ご連絡ください。

### 3 市から県へ申込を行う団体の決定方法

- (1) 県への申込枠は、前期3回まで、後期3回まで（市が開催する総合防災訓練に1回分の枠を使うため、年間を通じて5回まで）です。
- (2) 各自主防災組織からの申込数が枠を超えた場合は、次のとおり危機管理課において抽選を行い、県への抽選申込団体を決定します。

<抽選日時及び場所>（危機管理課が指定する日時・場所）

日時（予定）	前期：1月下旬頃、後期：7月上旬頃
場所	安城市役所

<抽選方法>

くじ引き等の方法にて抽選を行います。（申込みをした各自主防災組織の方であれば、抽選の立ち合いも可能です。）

### 4 利用決定時期

県の抽選終了後（前期：2月下旬頃、後期：8月中旬頃）、県から市へ抽選結果の通知があった後に、各自主防災組織へ利用決定（または抽選

もれ) の連絡を行います。

## 5 その他

- ・市への利用申込は、各年度、1 自主防災組織につき 1 回までとします。
  - ・県の抽選終了後、予約確定後に空き日程がある場合は、市から県へ電話により随時予約申込みをし、先着順で決定します。
- (受付開始は前期：2月下旬頃～、後期：8月中旬頃～)



**愛知県地震防災啓発キャラクター  
「防災ナマスン」**

## 安城市自主防災組織育成助成事業補助金 制度概要

～宝くじの社会貢献広報事業として実施するコミュニティ助成事業～

- 自主防災組織の活動に直接必要な設備（建築物及び消耗品を除く。）の整備を行う事業に対して、自治総合センターの定めるコミュニティ助成事業実施要綱に基づき市長が自治総合センターに助成の申請をし、決定を受けたもの
- 市の補助金を通じて、コミュニティ助成金が交付されます

### 実施主体

自主防災組織

### 推薦数

2組織まで

### 申請方法・決定時期

市・愛知県を通じて一般財団法人自治総合センターへ申請  
市から県へは10月下旬申請し、採択・不採択の決定通知は3月末予定

### 助成額

下限額30万円～上限額200万円  
※10万円単位（10万円未満切り捨て）

### 助成対象経費

助成対象となる経費は、地域の防災活動に直接必要な設備等の整備に要する費用です。

#### ◎対象となる設備の例

テント、発電機、防災倉庫、大型炊き出し器、投光器、デジタル無線機、可搬式動力ポンプ、浄水装置 など

※建築物は対象外ですが、基礎工事の伴わない簡易な倉庫・収納庫は対象となります。

※備蓄食料や数回の利用で費消される備蓄品は対象となりません。

### 市が推薦するために必要な項目

- 【1】 市長が2年連続して自治総合センターに申請していないこと
- 【2】 申請年度から起算して過去10年度の間、コミュニティ助成事業（地域防災組織育成助成事業）補助金の交付を受けていないこと

(参考)

年 度	町内会	(千円)
令和 2 年度	横山町	2,000
令和 4 年度	箕輪町	2,000

【3】 申請年度から起算して過去10年度の間、市の実施する類似の補助金等(安城市自主防災組織資機材整備事業補助金を除く)の交付を受けていない自主防災組織の行う事業

【4】 市民協働課の「安城市一般コミュニティ助成事業補助金」を、申請年度から起算して過去10年間に受けていない町内会で組織する自主防災組織であること

(参考)

年 度	町内会	(千円)	年 度	町内会	(千円)
平成 27 年度	東町	1,900	令和 3 年度	高棚町	2,500
平成 28 年度	城南町	2,500	令和 4 年度	下管池	2,400
平成 29 年度	北山崎町	2,100	令和 4 年度	別郷町	2,200
平成 30 年度	日の出町	2,400	令和 5 年度	城向	2,100
令和元年度	尾崎町	2,400	令和 6 年度	石井町	2,500
令和 2 年度	浜屋町	2,300			

【5】 申請年度から起算して過去5年間に、自主防災訓練(市に計画書等を提出したものに限り)を実施していること

### 推薦組織の決定

市が推薦するために必要な項目5つすべてに該当している組織が複数ある場合は、第一に危機管理課職員が選定表を用いて審査をし、第二に抽選にて決定します。

# 安城市災害支援制度一覧表

(令和8年4月1日時点)

住家が自然災害等による被害を被り、市の災害支援制度を受けられる場合、原則、下記の申請窓口において罹災証明書が発行が必要となります。詳しくは、下記の「各種支援制度」を確認いただき、対象と思われる担当部署に問い合わせの上、必要とされる際は申請窓口にて発行手続きをお願いします。

## 1. 各種罹災証明書の申請窓口 ※災害理由により、申請窓口が異なります

- (1) 自然災害による申請窓口・・・安城市役所の資産税課 (71-2215) にお問い合わせください。
- (2) 火災による申請窓口・・・安城消防署予防係 (75-2458) にお問い合わせください。

## 2. 各種支援制度について

※被害の程度により、対象にならない場合があります。詳しくは各担当部署までお問い合わせください。

### 安城市

項目	支援内容	支援理由	担当部署	
固定資産税・都市計画税の減免	被害の状況に応じて市長が定める額を免除	震災・風水害・火災等 (床下浸水対象外)	資産税課 (Tel71-2215)	
市県民税の減免			市民税課 (Tel71-2214)	
森林環境税の免除	被害の状況に応じて全額又は一部を免除	震災・風水害・火災等		
市税の徴収猶予	1年以内の期間に限り分割等での納付が可能となる 猶予期間に対応する延滞金の免除	災害により財産について被害を受け、納税が困難になった場合	納税課 (Tel71-2217)	
図書館資料	図書館資料損害賠償の免除	震災・風水害・火災等	アンフォーレ課 (Tel76-6111)	
災害見舞金の支給	死亡 10万円 負傷 1万5千円～3万円 住居等の被害 1万円～10万円 住居の床上浸水 1万円～2万円			
災害弔慰金の支給	生計維持者の死亡 500万円 その他の者の死亡 250万円			
災害障害見舞金の支給	災害による負傷等で重度の障害が残った場合 生計維持者 250万円 その他の者 125万円		震災・風水害等	社会福祉課 (Tel71-2224)
災害援護資金の貸付け	災害により世帯主が負傷した場合や住居・家財に損害を受けた場合 最高 350万円			
被災者生活再建支援金の支給	住宅に全壊等の被害を受けた場合 最高 300万円			
特別障害者手当等の災害特例	所得制限を一定期間は適用外とする	震災・風水害・火災等	障害福祉課 (Tel71-2225)	
特別児童扶養手当の災害特例	手当の支給停止者への全額支給			
心身障害者扶養共済制度の掛金の減免	掛金の3割を免除			災害により加入者及び同居者の所得の合算額が著しく減少した場合

項 目	支 援 内 容	支 援 理 由	担 当 部 署
介護保険料の減免	損害の程度により8分の1から全額を免除（所得要件あり）	震災・風水害・火災等により住宅、家財等に損害を受けた方（保険金等により補填される金額は除く）	高齢福祉課 (Tel71-2226)
介護保険利用者負担額の減免	損害の程度により介護サービス利用の本人負担額を100分の5とし、又は全額免除とする。（所得要件あり）	震災・風水害・火災等により住宅、家財等に損害を受けた方（保険金等により補填される金額は除く）	高齢福祉課 (Tel71-2226)
児童扶養手当の災害特例	手当の支給停止者への全額支給	震災・風水害・火災等	こども課 (Tel71-2229)
児童クラブ育成料の減免	全額又は一部を免除		こども課児童クラブ係 (あんぱ〜く内) (Tel72-2319)
国民健康保険料の減免	損害の程度により8分の1から全額を免除（所得要件あり）	震災・風水害・火災等（保険金等により補填される金額は除く）	国保年金課 (Tel71-2230)
国民健康保険一部負担金の減免等		震災・風水害・火災等	
国民年金保険料の減免	国民年金保険料の免除	震災・風水害・火災等（保険金等により補填される金額は除く）	国保年金課(Tel71-2231) (詳細は年金事務所へ)
後期高齢者医療保険料の減免	損害の程度により月割保険料の2分の1又は全額を免除	震災・風水害・火災等	国保年金課 (Tel71-2232)
後期高齢者医療一部負担金の減免等	全額又は一部を免除（要相談）		
保育料の減免	全額又は一部を免除		保育課(Tel71-2228)
ごみ処理の相談	手数料の免除について（要相談）	震災・風水害・火災等	ごみ資源循環課 (Tel76-3053)
市営住宅目的外使用	避難用に一時的応急施設としての市営住宅の使用（使用許可期間あり、無料）	自然災害・住宅火災により住宅に居住できない場合	建築課 (Tel71-2240)
障害物除去の実施	災害により半壊又は床上浸水した住家について、運ばれた土石、竹木等で一時的に居住できない状態にあり、自力では当該障害物を除去できない場合に障害物の除去を実施	震災・風水害等 (災害救助法が適用された災害に限る)	
応急仮設住宅の供与	応急仮設住宅が設置された場合、自らの力で住宅を確保できない方に対し、一時的に住宅を供与します。		
被災住宅の緊急修理	災害により被害を受けた住家について、被害の拡大を防止するために緊急的な修理を行う又は資材の現物給与		
被災住宅の応急修理	災害により「準半壊」以上の被害を受けた住家について、日常生活に必要な不可欠な最小限度の部分の応急的な修理を行う	床上浸水	
下水道使用料の減免	基本使用料を除いた従量使用料の一部（最大10m <sup>3</sup> ）を免除		水道業務課 (Tel71-2249)
水道料金の減免	基本料金を除いた水量料金の一部（最大10m <sup>3</sup> ）を免除		

## 安城市以外

項 目	支 援 内 容	支 援 理 由	担 当 部 署
災害見舞品の配布	緊急セット(歯ブラシ・タオル・ラジオなど)・毛布など(日本赤十字社から援助)、布団(安城善意銀行から援助) ※り災証明書不要	震災・風水害・火災等	社会福祉協議会 (Tel77-2941)
所得税の減免 雑損控除	被害の状況に応じて免除(所得要件あり)		刈谷税務署 (Tel21-6211)
経済環境適応資金 災害対応資金 (愛知県融資制度)	中小企業者の事業資金の融資	震災・風水害等	愛知県中小企業金融課 (Tel052-954-6333) (申込先は愛知県融資制度 取扱金融機関)